

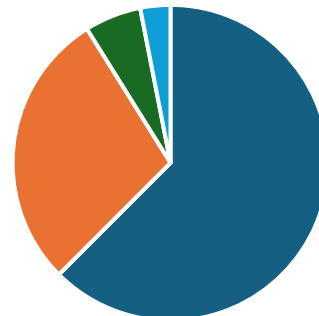
学校評価アンケートについて

令和7年12月に全校子供対象でアンケートを実施しました。その結果について集計・考察いたしましたので公表いたします。

1 学校は楽しいですか。

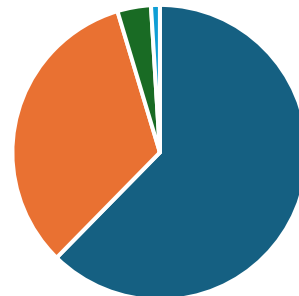
■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

学校は楽しいと感じている子供が多い。学年別にみると高学年で「そう思わない」と感じている子供が多かった。千葉市全体でも「わかる授業の推進」と「楽しい教室」の充実に力を入れているが、本校でも教材研究や学級経営のさらなる充実が必要である。また、子供の実態をみて個にあった指導支援をしていくことが大切だと感じられる。学校は社会である。良好な人間関係を築くスキルの育成も必要であると思われる。



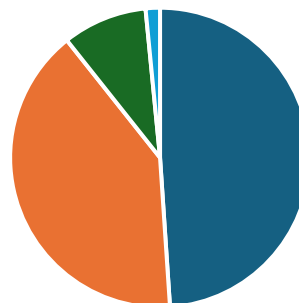
2 先生が教えてくれる勉強はよくわかりますか。

多くの子供がよくわかると感じている。しかし「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じている子供が増えているところもある。教材研究に励むことはもちろん、研修へ積極的に参加したり、校内研究を充実させたりすることも必要である。しかし30人以上いる学級で全員に効果的な学習をしていくことは非常に困難である。ご家庭でもご理解とご協力をお願いいたします。



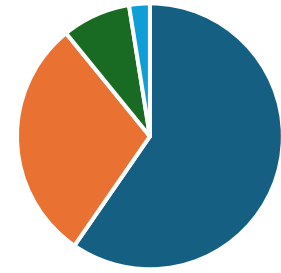
3 挨拶をきちんとしたり、言葉遣いに気を付けたりすることができましたか。

「そう思う」の子供が半数である。挨拶ができる子供は増えているように感じられるが、一部の子供において言葉遣いが強くなったり、相手を傷つけたりしてしまう表現が見られることがある。日々の学級経営の中で指導していきたい。SNS上で良くない言葉を発しているという問題も起きている。学校外のそういった問題に対しても日常の習慣や規範意識が大切である。家庭と学校が連携して子供たちを指導支援していきたい。



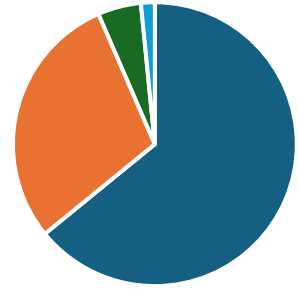
4 元気に過ごすために手洗いをしっかりしたり、外で友達や先生とよく遊んだりしましたか。

高学年で「そう思わない」が多い。冬場の時期は特に感染症予防の観点から手洗い等しっかり習慣づけていきたい。また子供によっては休み時間に外に行かない子供もいる。適度な運動、十分な睡眠、バランスのよい食事など健康指導も充実させたい。「業間または昼休みどちらかは外に行く」などの声掛けをしていくことも必要である。



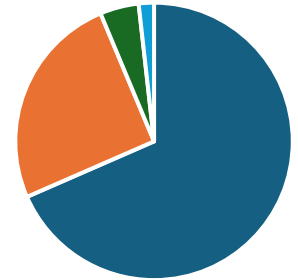
5 先生はあなたの話をよく聞いてくれましたか。

9割以上の子供が肯定的な回答をしている。担任の普段からの学級経営はもちろん、専科や学年の先生など多くの職員で子供たちの指導支援にあたっている成果である。しかし担任としては話を聞いているつもりでも、子供からするとあまり話を聞いてくれないと思っているというケースもある。自分の気持ちをうまく話せない子供もいるので継続的な努力が必要である。



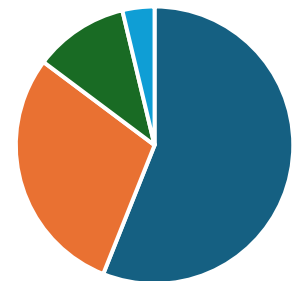
6 学校の勉強を頑張りましたか。

「そう思う」の回答が100%の学級もあった。個々が頑張っているという意識があることはとても良いことである。子供たちの気持ちを支えつつ、やる気が持続できるような声掛けや授業構成を心がけていきたい。ご家庭でも宿題や家庭学習の成果をみて、子供たちに激励の声掛けをお願いいたします。



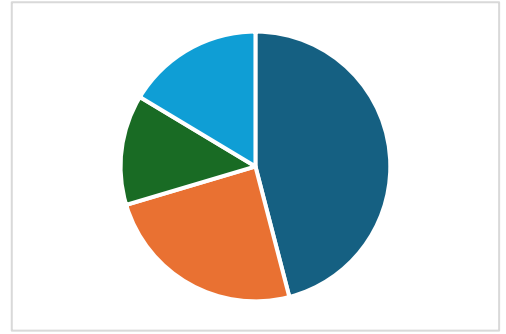
7 宿題や家庭学習など毎日取り組みましたか。

一部でかなり低いところがあった。今の子供たちは習い事などで忙しい子供も多いが、宿題などやるべきことはやるという指導はしていきたい。低学年からの習慣はとても大切なので、低学年から指導を徹底していきたい。ご家庭の協力が必須な項目であるので、学校と家庭で情報を共有しながら、子供たちのために指導支援をしていきたいところである。



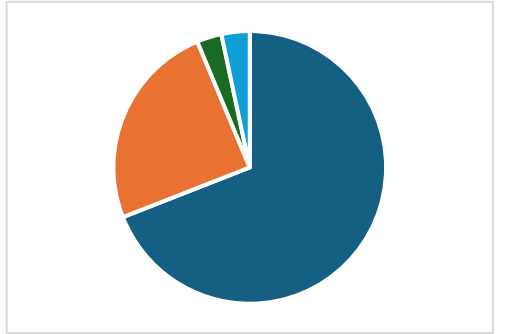
8 星久喜小学校の先生以外の地域の方や他の方から勉強を教えてもらうことができましたか。

全体的に低い。「アルティーマーリ千葉学校訪問」や「ヤクルトおなか元気教室」など外部講師を招いて出前授業など多く入れているが、子供たちにとって学習と捉えられていないことが課題だと考えられる。開かれた教育課程として、地域との交流を増やしていくことも本校の課題である。学校、家庭、地域で子供たちを育てていく環境を整えていきたい。



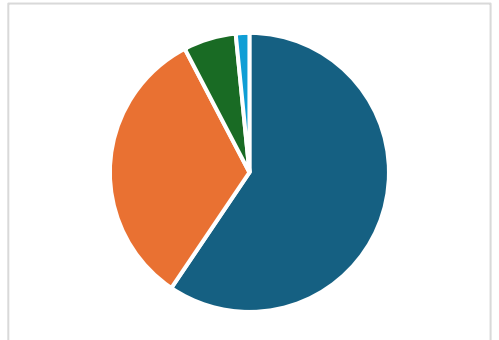
9 交通事故に気を付けたり、危ないことをしないように注意したりして過ごせましたか。

全体的には高いが、一部でとても低いところもあった。どういった行動が危険なのか、どうすれば自分の身を守ることができるのか、自分たちで考えられるような力の育成が大切である。「自分の命は自分で守る」という普段からの意識が、非常時に役立つ。学習同様、自主的に考える力を育成していきたい。



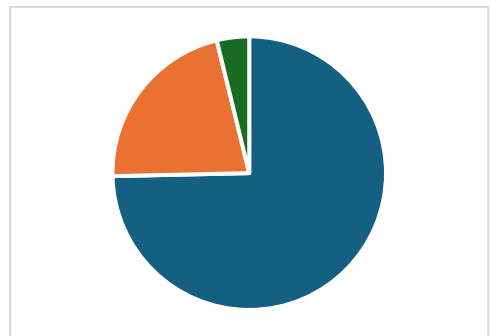
10 教室では先生の言うことを聞いて、落ち着いて勉強することができましたか。

肯定的意見である「そう思う」「どちらかというと思う」のみの学級が何個かあった。落ち着いた学習環境は、学校生活全体の充実につながる。「そう思わない」の子供がなぜそうなのか、よく話を聞いて改善していく方法を模索していきたい。目と耳からのインプットは非常に大きい割合を占める。話を聞ける子供を育てていきたい。



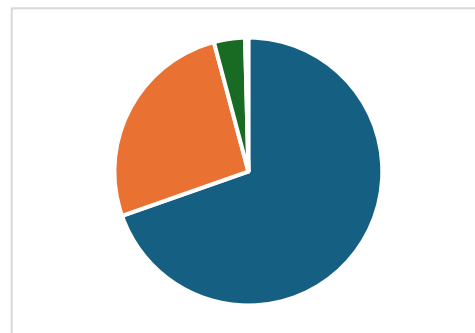
11 学校のいろいろな行事は楽しかったですか。

全体的に高いが、特に低学年で高くなっている。楽しいと感じることは大切だが、それだけではなく楽しさを感じることを土台として行事に対する取り組み方について、支援をさらに工夫していきたい。行事にはそれぞれに教育的目的があるので、それにそって、子供たちの気持ちも大切にしていきたい。



12 友達に優しくし、仲良くすることができましたか。

「そう思わない」がほとんどいない。肯定的意見がとても多い項目である。学校を社会と捉え、良好な人間関係を築いていく力は子供たちの生きる力につながっていく。今後も大切にしていきたい。しかし、一部の友達だけでなく、多くの人に優しく接することができるようにしていけるとなおよい。



13 毎日学校に遅れないように、朝の準備をしていますか。

「そう思わない」「あまりそう思わない」が多い。学校での声掛けも必要だが、家庭での対応が必須な項目である。早寝早起き朝ごはんなど、小学生時代の生活習慣の習得はとても大切となる。朝のリズムを整えるには、夜の生活習慣を直すことが大切であるので、ご家庭でも話し合ってみてください。

